

競技注意事項

- 2018年日本陸上競技連盟の規則により競技を行う。
 - スターターの合図は日本語で行い、スタート信号は電子音で行う。（補助競技場は紙雷管で実施）
 - 同じ選手が2回の不正スタートで失格とする。
- 招集について
 - 招集時間
 - 種目により招集開始時間、招集完了時間が違うので、裏表紙の競技時間表で確認のこと。
 - 招集完了時刻には、移動が開始できるように余裕をもって集合すること。
 - 招集所は、主競技場・第1ゲート（ゴール側ゲート）外側に設ける。ただし、補助競技場で実施する競技は補助競技場倉庫前に設ける。（3年女子60m、4年男子100m、5年男子100m）
 - 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。
 - 招集時にスパイクピンを確認する。（9mm以下・走高跳は12mm以下）
 - 招集に遅れた選手は出場を認めない。但し、同時刻にリレーに出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係（招集所）に申し出ること。
 - 競技会場への入場は、招集完了後、選手誘導係の誘導によって入場するので、招集所にて待機すること。
 - リレー種目はオーダー用紙を招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出し、その上所定の時間に招集を受けること。（決勝時においては変更ある場合のみ提出）オーダー用紙は、受付時に配布する。
 - リレー種目は4人のユニフォームを揃えること。（招集所でチェックする。）
 - 電子機器類の競技場への持込を禁止する。（携帯電話、ミュージックプレーヤー等）
 - 招集所で持ち物をチェックすることがある。
- リレーとフィールド競技を兼ねる者は、リレーを優先とする。
 - 但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。
- 3年女子60m、4年男子100m、5年男子100m予選は、補助競技場で実施する。
- 3年生の60m、4・5・6年生の100m・80mH・400mリレー予選は、タイムレースとし、8人（チーム）で決勝を行う。
- 1・2年生の60m・5・6年生の800mは、タイムレース決勝とし、上位8名を決定する。
- 800mのスタート方法は、オープンスタートとする。
- トラックレース(短距離)において、スタート前に腰ナンバーカードの代用として、レーンを示す色テープを配布するので、右腰やや後方に貼り付けること。（800mは腰ナンバーカードを配布するので着用のこと）
- 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- スターティングブロック、スパイクは使用してもよい。（素足は禁止する）
- 走幅跳・ジャバリックボール投は、3回の試技を行い、記録上位8名で決勝（3回試技）を行う。
- 走幅跳・ジャバリックボール投げについて、1回目は全員計測するが、2回目からは計測ラインを超えた者のみ測定する。計測ラインは、1回目の結果から決定し、選手に通告する。
- 走高跳はマットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。
 - 練習は90cm、競技開始は1m00とする。以後5cm刻みとし、男子は1m35より、女子は1m25より3cm刻みとする。
- 走幅跳のピットは、メインスタンド側よりA～Bピットとする。
- ジャバリックボール投の助走距離は15m以内とし、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。（羽だけを持って投げることは禁止する。）※ヴォータックスフットボールを使用する。
- 補助競技場、・投てき場、・競技場周辺での投てき練習を厳禁する。

17. 表彰について

各種目8位までの入賞者・チームは表彰を行う。入賞者は競技終了後、すみやかに表彰控え室に集合すること。リレー種目と兼ねている者は、指導者が責任をもって代理を出すこと。（式進行上、集合なき選手がいても実施する）

18. 競技場内へは、出場選手及び競技役員以外の立ち入りを禁止する。

19. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。

20. 補助競技場及び投てき場の使用については、次のことを厳守すること。

○補助競技場のホームストレート側については、競技会場となる時間帯は使用禁止とする。

○投てき場は、ウォーミングアップ場所として終日使用ができる。（投てき練習は厳禁）

○選手・監督・コーチ以外の者の出入りを禁止する。（IDで規制する）

○ベンチを設置することを禁止する。

○ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。

○1レーンは、長距離のペース走専用とする。2～4レーンは、流し等の専用とする。

○直走路5～7レーンはスタートダッシュ専用とする。8レーンはハードル専用とする。

○リレーのバトンパス練習はバックストレートを使用する。

○走幅跳の練習は所定のピットで行う。

○走路及びピットに立ち止まるとの指導等を禁止する。

○走路は左回りとし、逆走は禁止する。また、直走路の横断は厳禁とする。

○その他、競技役員の指示に従うこと。

○旧補助競技場は、使用不可とし、立ち入りを禁止する。

21. 雨天練習場は使用可とする。

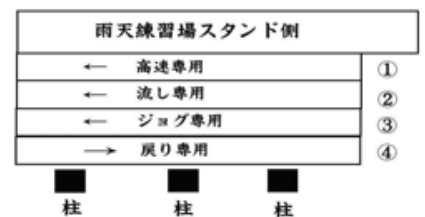
○スタンド側より

1レーンは、高速専用とする。2レーンは、流し専用とする。

3レーンはジョッグ専用とする。4レーンは戻り専用とする。

○走路の横断は厳禁する。

○全天候走路上にチームベンチを設置することを禁止する。



22. その他

○雨天時及び雨天後は非常に滑りやすいので、アップシューズで参加する場合は、指導者が十分に気をつけて指導すること。

○選手は、ゴール後本部前を通らず、ダッグアウト及び外周を通り最寄りのゲートから退場すること。

○スタンドは防水処理加工がされているため、ベンチでの重石やガムテープの使用、スパイク着用での歩行を厳禁する。

○メインスタンドでのテントの設置を禁止する。15列目から上の席にベンチを置くことは可とする。

○プログラムの訂正は8時30分までにT I Cまで申し出ること。

申込不備による訂正は受け付けない。競技開始後の訂正は一切受け付けない。

○競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃し、ゴミは各自自宅まで持ち帰ること。

○持ち物の保管は各自で責任を持つこと。また、カラス被害に注意のこと。

○横断幕は、主競技場の芝生スタンド及びバックスタンドの手摺のみ可能とする。（最前列は禁止）

23. ルール改正にともない下記の点に注意すること

○リレーオーダー用紙提出後は選手の変更はできない。

○リレーにおけるテークオーバーゾーンは30mと変更になり、テークオーバーゾーン内からスタートしなければならない。